

**製品名: ITK マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81017**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB,ICC,ELISA,FC                                   |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。                   |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 72kDa  |

**抗原情報**

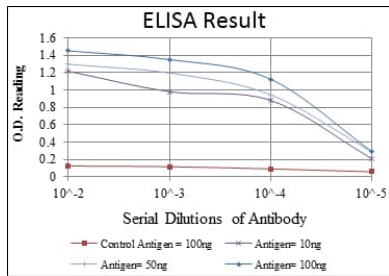
|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | ITK                                    |
| 別名           | EMT; LYK; PSCTK2; MGC126257; MGC126258 |
| 遺伝子 ID       | 3702.0                                 |
| SwissProt ID | Q08881                                 |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト ITK の精製された組み換え断片。           |

**背景**

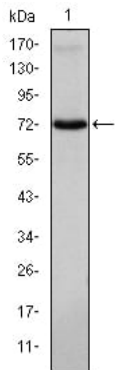
この遺伝子は、T細胞で発現する細胞内チロシンキナーゼをコードしています。このタンパク質は、細胞内キナーゼによく見られる SH2 ドメインと SH3 ドメインの両方を含んでおり、T細胞の増殖と分化に関与していると考えられています。

## 研究分野

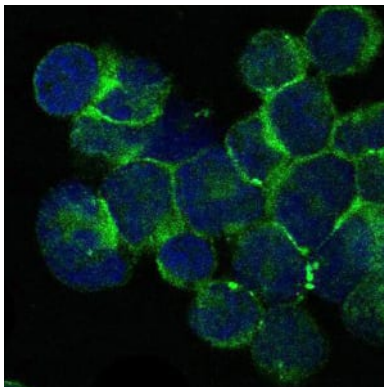
## 画像データ



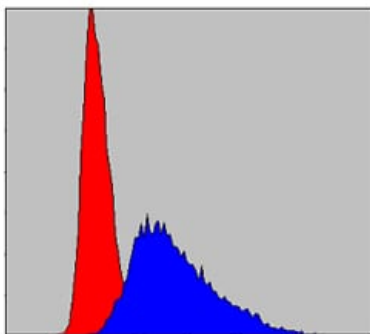
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Jurkat 細胞溶解物に対する ITK マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。



ITK マウス mAb (緑) を用いた Jurkat 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



ITK マウス mAb (青) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。